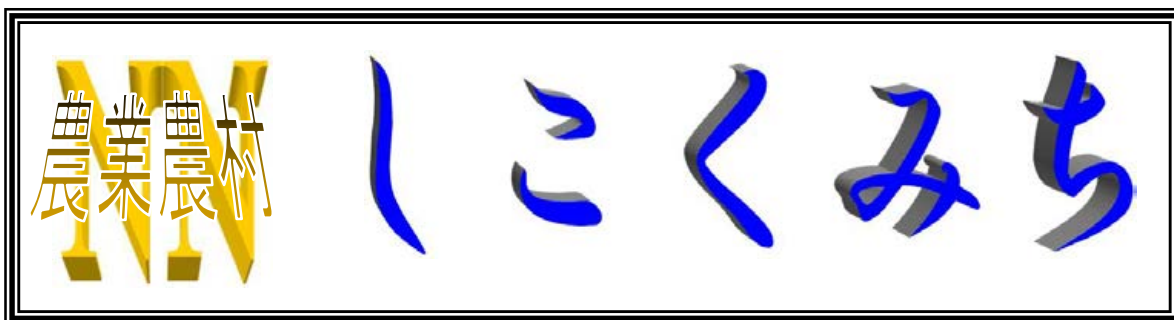


四国土地改良調査管理事務所だより



Vol.7 2010 9



(香川県丸亀市上空からの写真)

目次

INDEX

食料自給率について	1
ため池百選	5
地域整備方向検討調査「吉野川北岸地域」について	7
ストックマネジメントの取り組みについて	8
農商工連携の紹介	9
文化・歴史	11

農林水産省
中国四国農政局

食料自給率について

はじめに

「食」を生み出し、「地域」を支える農業は、日本で暮らす私たちの「いのち」を支える基礎となるものです。

本年3月、政府は、こうした「食」と「地域」の再生を図るための基本指針となる新たな「食料・農業・農村基本計画」を策定しましたが、その計画の中で現在40%の食料自給率を10年後の平成32年度に食料自給率50%（カロリーベース）まで引き上げることを目標に掲げています。本誌では、食料自給率の向上に向けた取り組みについてご紹介します。

食料自給率とは

食料自給率は、その国の食料消費がどの程度、自国の生産でまかなえているかを示しており、我が国の食料需給のあり方を考える上でも大切な指標です。

通常、「我が国の食料自給率」として使用しているものは、カロリーベースの食料自給率（供給熱量総合食料自給率）です。これは、食料が生命と健康の維持に欠くことのできない最も基礎的で重要な物資であることから、その基礎的な栄養価であるエネルギー（カロリー）が国産でどれくらい確保できているかという点に着目しているためです。



食料をとりまく事情

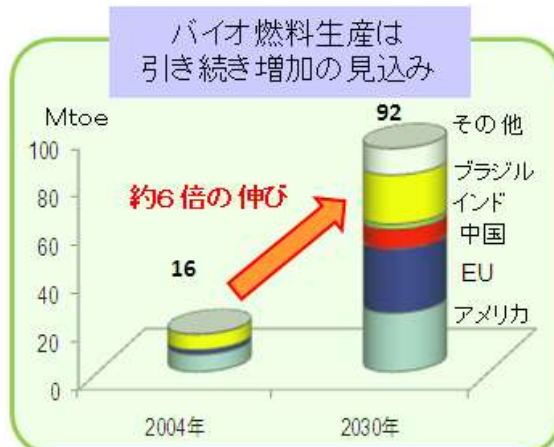
日本は、季節を問わず様々な食物を口にすることが出来る国ですが、世界の食料をとりまく事情は深刻化しています。

アジアやアフリカで人口増加が顕著であり、40年後の2050年には世界の人口は91億人と想定されています。さらに、ライフスタイルの変化による食生活の変化によって食料需要が増加する中、トウモロコシ、サトウキビなどのバイオマスの持つエネルギーを利用したアルコール燃料（バイオ燃料）生産への転換、気候変動による食料生産の不安定化などにより、食料供給の安定性は脅かされています。

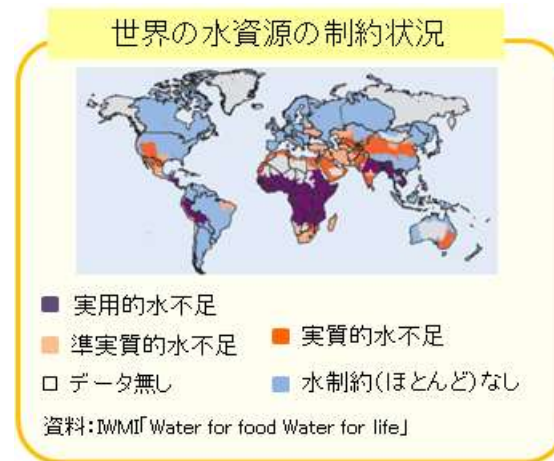
これらのことから、将来、日本にも深刻な食料危機が訪れる可能性が懸念されており、私たちにとっても、他人事ではありません。

現在の日本の食料の6割を外国に依存していますが、何らかの事態で外国からの食料供給が止まってしまうと、私たちの食生活は大きな影響を被ってしまいます。

食料の需要量は、人口の伸びを上回るスピードで確実に増加する傾向です。



しかし、地球温暖化、水資源の制約などの不安要因が存在し、既に食料生産に影響が顕在化しています。

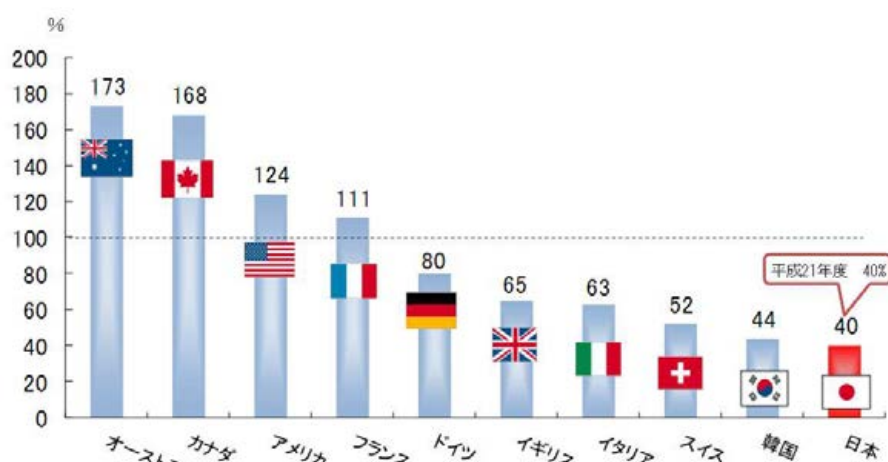


高い食料自給率を目指して

日本の食料自給率は先進国の
中で一番低くなっています。輸
入食料を特定の少数の国に依存
しているため、わが国の食料供
給の構造が相手国の供給余力に
左右されやすくなります。

現に最近の報道によると、小麦の燃料向け需要の拡大やロシアの干ばつによる穀物の輸出禁止により国内小麦価格が高騰しています。

このような食料事情のなか、食料自給率が先進国の中で最低水準にある我が国としては、食料安定確保の観点から、より高い食料自給率を目指していく必要があります。



(資料)農林水産省「食料需給表」、FAO“Food Balance Sheets”等を基に農林水産省で試算した。ただし、韓国については、韓国農村部「2009年度農漁業農漁村及び食品産業に関する年次報告書」による。

食料自給率向上に向けた生産面からの取組

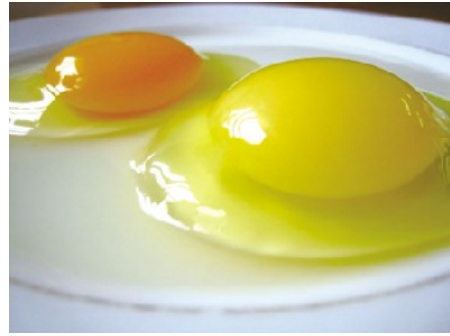
わが国では、農家戸数及び農地面積が減少し、耕作放棄地が拡大しています。

農地資源が限られている我が国においては、食料自給率向上に向けて、水田をはじめとした農地資源を最大限活用することが第一歩です。

特に、二毛作により小麦の作付けを飛躍的に拡大するとともに、作付けられていない水田や有効利用が図られていない畑地を有効に活用した米粉用・飼料用米、大豆等の作付けの拡大、耕作放棄地の解消等に取り組む必要があります。



香川県では讃岐うどん用小麦品種である「さぬきの夢2000」の生産拡大を図っている。



国産の飼料用米を飼料に使った卵。(右の黄色の鮮やかな卵)

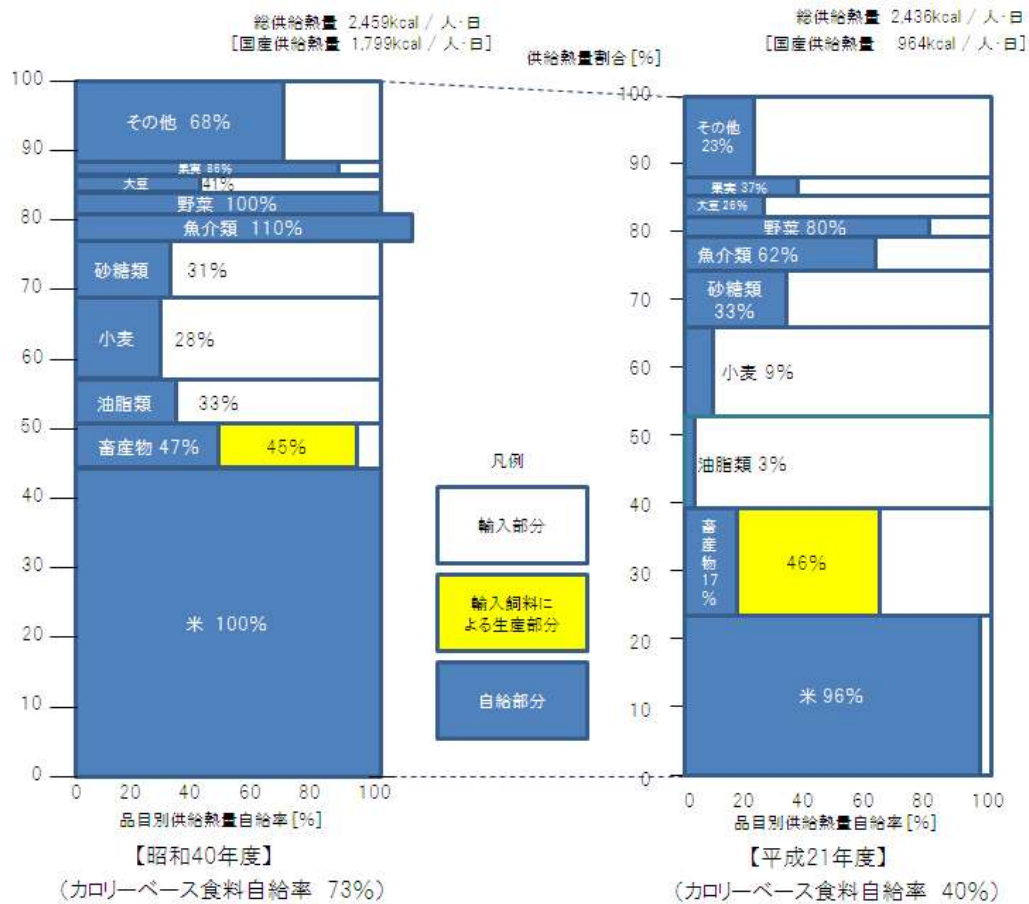
食料自給率向上に向けた消費面からの取組

昭和40年度当時の食料自給率（カロリーベース）は、73%ありましたが、現在、食料自給率が40%まで低下した背景には、食生活の変化も伺われます。



NNしくみら

下図の青色が国内での自給部分ですが、平成21年度は米以外のほとんどの食品は輸入に頼っていることになります。また、平成21年度は、昭和40年度当時に比べ、主食用米の消費が極端に減少していることが分かります。



食料自給率を上げるためには、朝食欠食の改善による米の消費拡大や大豆加工食品について国産大豆の使用割合の大幅な引き上げに取り組む必要があります。

また、現在浸透しているパン食やめん食についての国産小麦・米粉の活用拡大などに取り組むことが必要です。



和食を中心とした朝食



米粉を使用したパン



玄米を使用した麺

ため池百選

平成22年3月、農林水産省において、ため池の保全や役割を国民に知ってもらうための契機として「ため池百選」の選定が行われ、四国4県では11箇所のため池が選定されました。

全国に約21万存在するため池のうち、その多くが江戸時代以前に造成された長い歴史を持ち、現代に至るまでの間、農業用水の貴重な水源や防災面といった重要な役割を担ってきました。

しかし、中山間地や過疎化が進む農村では、高齢化や人口の減少により、ため池の管理・維持が難しくなりつつあります。このまま放置していると、防災面での脆弱化や多様な役割の発揮が困難になり、ため池の持つ本来の機能が失われる恐れもあります。

本誌では、「ため池百選」に選ばれた四国4県のため池の中から順次、概要を紹介し、より多くの方々にため池の存在を身近に感じてもらい、ため池の機能と役割について理解を深めて頂き、環境保全や維持管理の大切さを認識して頂ければと思います。



本号では「ため池百選」の中から愛媛県の3箇所のため池を紹介します。

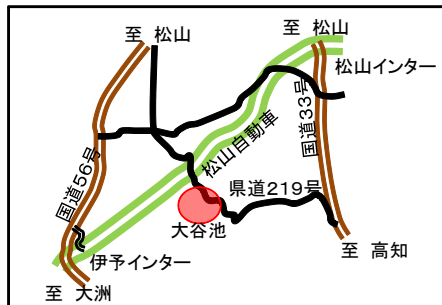
おおたにいけ

大谷池（愛媛県伊予市）

大谷池は、貯水量175万トン进行有する愛媛県最大のため池で、伊予市平野部の田畑838haに農業用水を供給しています。

「えひめ森林公園」に隣接しており、ハイキングやウォーキングの場として市内外より、多くの人々が訪れています。

また、緑豊かな溪谷には、渡り鳥を初め様々な野鳥がおり、鳥類愛好家にとって「宝の谷」となっています。



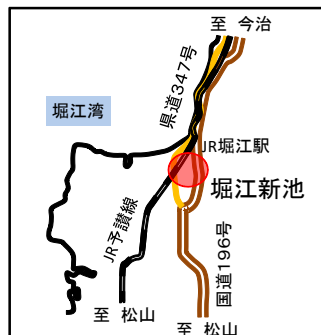
ダムのような規模の大きいため池です

ほりえしんいけ

堀江新池（愛媛県松山市）

堀江新池は、松山市最大のため池で、池の中ほどに波止場（中土手）がある珍しい形をしています。これは池があまりに大きいため、大雨の時に生じる波立ちで堤体が壊されるのを防ぐための土手で、非常にまれなものです。

また、池中央の浮御堂は、豊かな水と緑の水辺空間を体感することができる「癒しの空間」となっています。



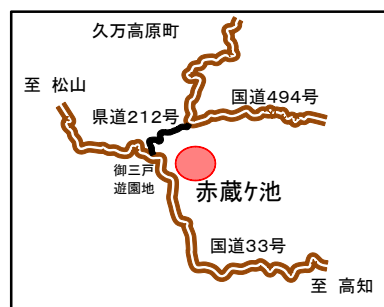
周囲約1kmの遊歩道が整備されており散歩コースには最適です

あぞがいけ

赤蔵ヶ池（愛媛県久万高原町）

赤蔵ヶ池は人里から離れた標高870mの場所にあり、周辺は雑木林に囲まれ、春は新緑、秋は紅葉、神秘的で深い碧色の湖面など様々な景観を楽しむことができます。

久万高原町の自然環境保全指定地となっており、希少な植物が生育し、自然環境保全の点でも、また古い歴史を持つ文化財としても貴重な存在です。



綺麗なトンボを発見、自然あふれるため池です

地域整備方向検討調査「吉野川北岸地域」について

国営総合かんがい排水事業「吉野川北岸地区」（工期：S46～H元）の完了後、20年以上経過し、その間に早期米作付けの増加など営農形態の変化が進み、水利用の形態も変化してきました。

このため過去3回（H10, H11, H17）水利権の変更を行い早期米用水の確保に対応してきましたが、未だに早期米用水が不足しており、土地改良区では水管理に多大な労力を要しています。

こうしたことから、早期米用水の確保は、現在の水利権水量と既存水源（ため池等）の有効活用により対応が可能かどうか、地域営農実態や農業用水の水利用実態を把握・整理し、併せて水資源の有効利用や農業用水の適切な利用を検討するために、平成22年度より地域整備方向検討調査（国費100%）を開始しました。



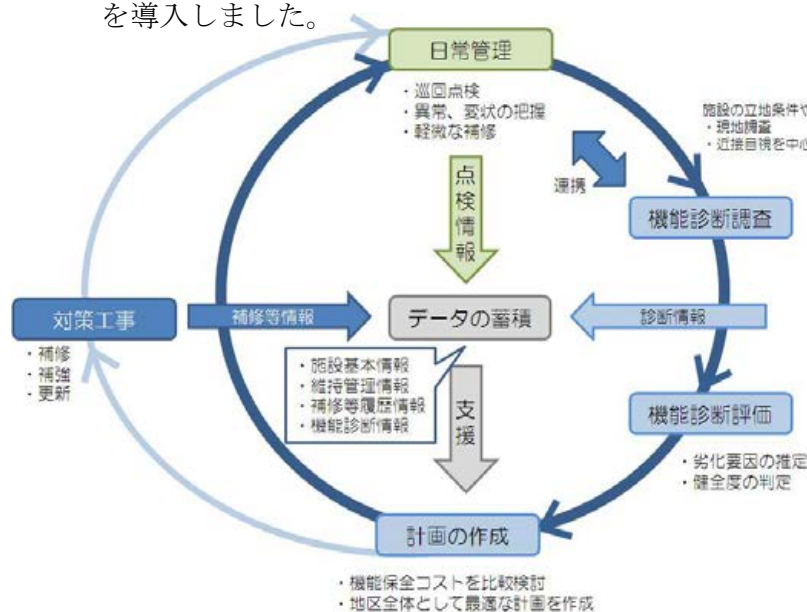
ストックマネジメントの取り組みについて

国営土地改良事業によりこれまでに造成された基幹的な農業水利施設は、安定的な食料供給基盤となる社会資本ストックを形成してきたところです。

こうした農業水利施設は、今後その多くが順次更新時期を迎えることになるため、その機能の適切な維持保全と次世代への継承が重要な課題となっています。

膨大な農業水利施設の機能を適切にかつ効率的に発揮させるため限られた予算の中で、効率的な施設の機能を維持するための仕組みの整備が必要です。

このため、施設の機能診断に基づく機能保全対策の実施を通じて、既存施設の有効活用や長寿命化を図り、施設建設から更新に至るまでの費用を低減する手法「ストックマネジメント」を導入しました。

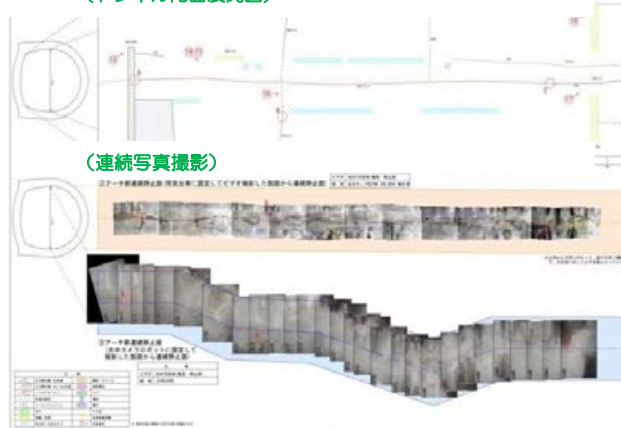


国営造成水利施設の機能保全の取組み概略図



撮影ロボットによるトンネル内調査

(トンネル内面展開図)



(連続写真撮影)

機能診断調査結果や機能保全のための対策工法の検討経緯については、施設管理者と施設造成者及び関係機関が情報を共有し、今後の具体的対応について検討することが重要です。

このことから、四国土地改良調査管理事務所では、平成21年度に施設管理者及び関係機関が構成員となる「農業水利施設機能保全等推進連絡会」を設置し、本年度も愛媛県の道前道後平野地区（5月11日）、同県の南予地区（5月12日）、また、徳島県の吉野川北岸地区（5月18日）において推進連絡会を開催し、ストックマネジメントの取り組み状況、調査結果及び調査方針について意見交換を行いました。

当事務所では、今後も定期的に推進連絡会を開催し、情報提供や意見交換の場として活用していくこととしています。



道前道後平野地区推進連絡会(愛媛県林業会館にて)



南予地区推進連絡会(南予農水中央管理所にて)



吉野川北岸地区推進連絡会(徳島県庁にて)

農商工連携の紹介

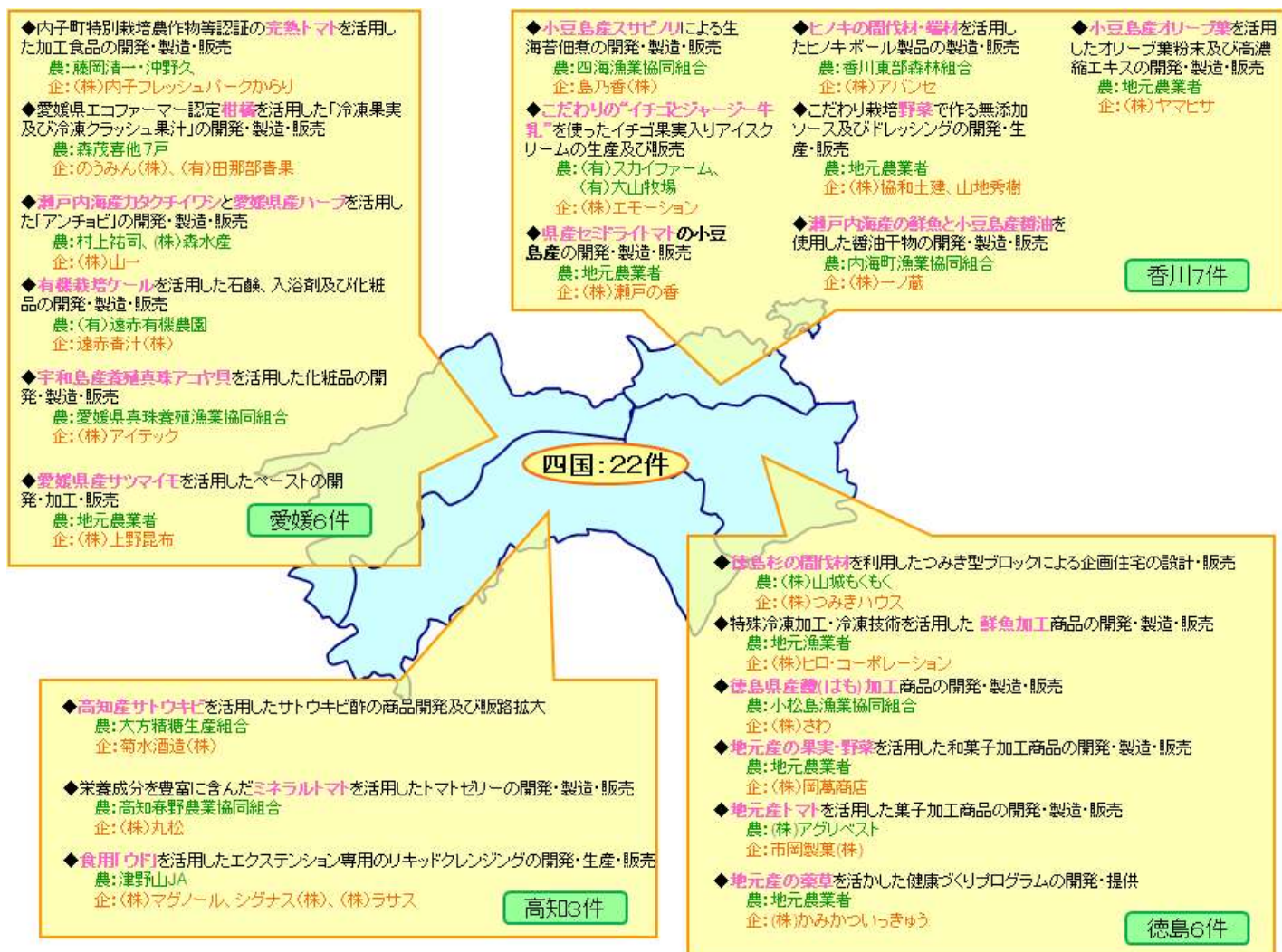
農山漁村には、その地域の特色ある農林水産物、美しい景観など、長い歴史の中で培ってきた貴重な資源がたくさんあります。こうした資源を有効に活用するため、農林漁業者と商工業者の方々がお互いの「技術」や「ノウハウ」を持ち寄り、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むことが必要です。

こうしたことから、農林水産省と経済産業省が一体となって、農林漁業者と中小企業者とのつながりを応援し、それぞれの強みを十二分に発揮した事業活動を促進するため、「農商工等連携促進法」が平成20年7月に施行されました。

平成21年度までに事業者から申請のあった「農商工等連携事業計画」の認定件数は四国4県では22件であり、創意工夫を発揮した多様な取組みが始まっています。

本誌では、そのうち2つの事例について紹介します。

農商工等連携事業計画認定(四国)(2009年度まで)



◆完熟トマトを活用した加工食品の開発・製造・販売(愛媛県)

愛媛県内子町産完熟トマトを活用したトマトケチャップソースなどの新商品を開発、製造し、こだわりの商品を求める都市部の消費者を中心に販路を開拓しています。

農業者

藤岡氏、沖野氏(愛媛県喜多郡内子町)

内子町栽培基準から化学合成農薬及び化学肥料の30～50%以上削減して育成した完熟トマトの栽培及び供給。(内子町特別栽培農作物等認証)



完熟トマト



トマトケチャップ・トマトソース

食品製造業者

(株)内子フレッシュパークからり(愛媛県喜多郡内子町)

完熟トマトを原料として「トマトケチャップ・トマトソース」、「トマトジャム」、「トマトアイス」を製造し、直売所での販売に加え、インターネット販売等により販路開拓。

◆イチゴとジャージー牛乳を使ったイチゴ果実入りアイスクリームの生産・販売 (香川県)

香川県産の減農薬イチゴと低温殺菌ジャージー牛乳を使用したイチゴ果実入りアイスクリームを開発し、こだわり商品の購買層等を中心に市場開拓を行っています。

農業者

(有)スカイファーム(香川県高松市)

減農薬栽培技術を活かして、こだわりイチゴの栽培及び供給。

農業者

(有)大山牧場(香川県さぬき市)

ジャージー牛から絞った低温殺菌牛乳の供給を行い、イチゴとジャージー牛乳を活用した「イチゴ果実入りアイスクリーム」の製造。



減農薬栽培されたイチゴ



イチゴ果実入りアイスクリーム

飲食料品小売業者

(株)エモーション(香川県綾歌郡宇多津町)

「イチゴ果実入りアイスクリーム」を豊富な販売チャネルを活用し、こだわり層に向けて販売を拡大。

【文化・歴史】 滝宮念仏踊り(香川県綾川町)

讃岐は昔から何年か毎に厳しい干ばつに見舞われるところです。溜めた水をいかに大切に使うとも、池の水が干上がってはどのようなありません。そんな時、人々はひたすら天に降雨を祈願しました。



滝宮天満宮で8月25日行われた念仏踊奉納の様子

香川県綾川町滝宮で行われる“滝宮念仏踊り”は、雨乞いの中でも有名な、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

この念仏踊りは、平安時代、讃岐国司として配された菅原道真に端を発するものと言われています。

仁和年間（885～888）、讃岐はひどい干ばつに見舞われ、農民が苦しんでいるのを見て、菅原道真が城山の神に降雨を祈願、断食7日の祈願の結果、大雨が降り、喜んだ農民たちは道真の屋敷の庭に集まり、感謝の踊りを行ったのが始まりだと言われています。後に、讃岐に流された法然上人が仏教を広めるため「南無阿弥陀仏」をこの踊りに取り入れたことから、念仏踊りと呼ばれるようになったと伝えられています。

今では豊作祈願のための念仏踊りが毎年8月25日に行われていますが、日照りが続く年には「雨乞い念仏踊り」が奉納されます。

編集・発行

農林水産省 中国四国農政局 四国土地改良調査管理事務所

〒762-0086

香川県丸亀市飯山町真時677-1

TEL：0877-56-8260 FAX：0877-56-8266

ホームページアドレス：

<http://www.maff.go.jp/chushi/kj/yontyou/index.html>



四国土地改良調査管理事務所



事務所の位置図

■ 四国土地改良調査管理事務所道前道後支所

〒790-0001

愛媛県松山市一番町4丁目2番

TEL：089-947-8444 FAX：089-947-8440

ホームページアドレス：

<http://www.maff.go.jp/chushi/kj/douzen/index.html>

道前道後支所

表紙紹介

香川県丸亀市上空から撮影した讃岐平野の様子。県内14,000余りのため池は、降水量が少なく大きな河川が無いこの地域にとって貴重な水瓶であり、過去の先陣達の知恵と苦労が伺えます。

奥側には円錐形の形をした「讃岐富士」の別名をもつ飯野山を望みます。四国土地改良調査管理事務所は、飯野山の裾野に位置します。